

大和の古刹を歩く



第二の鳥居
小ぶりの石の鳥居です。ここから参道を1分ほど歩くと正面に境内に続く階段があります。



手水舎
麓の口から出ている水は葛城山から湧き出る神様からの水だそうです。



蜘蛛塚

可愛なお顔の老夫婦。かぼちゃをもっておられます。かぼちゃを食べるとボケ封じになるそうですよ。



至福の像
階段を登りきると手水舎と至福の像が見えます。長寿とボケ封じの神様です。



拝殿
創建は不詳ですが本殿は明治9年(1876年)の改築で、屋根は銅板葺きです。主祭神の葛城乃一言大神は「吾(あ)は愚事(まがごと)も一言、善事(よごと)も一言、言羅(ことさか)の神、葛城の一言大神なり」といわれ、一言のお祈りなら叶えてくださる神様だそうです。

祈願すると子授けやお乳が良く出るそうです。乳が垂れたような気配がスゴイですね！



乳銀杏(ちちいちょう)
拝殿前にある1200年の樹齢を誇るご神木の乳銀杏。巨体を支えるため太い4本の丸太で補強されています。幹は上にいくほど太くなっていて不思議な感じです。



無患子(むくろじ)
黒い実は羽子板の玉に使われ、「厄払いや子が患うことがない」という意味があり樹齢650年の古木。

葛城一言主神社 [かつらぎひとことぬしじんじや] 奈良県御所市森脇432

奈良の御所市にある「一言主神社」へ行ってまいりました。ここは全国各地ある一言主様の総本社として篤い信仰を集めている神社です。名前の通り一言の願いをかなえてくださる神様「葛城乃一言大神」が主祭神です。古事記では「一言主」日本書紀では「一事主」日本書紀では「一語主」と表記され、地元では「いちごんさん」の愛称で親しまれています。葛城山のすそ野にある古道から奈良盆地が広がり、のどかな田園風景は癒されます。

民間療法・東洋医学・西洋医学のちがい

身体を守る

日本では昔から伝えられてきた民間療法で病気の予防や治療を行ってきました。奈良時代になると仏教の伝来と共にさまざまな文化、薬草、中国の伝承医学(中医学、東洋医学、漢方)が持ち込まれ、江戸時代に入ると西洋医学が伝わってきました。明治時代になると西洋医学が日本の医学と制定されましたが、現在では民間療法も東洋医学も含め、それぞれの特徴と得意とする分野の医療が認められています。



6つの原料のビューティバランス

- ① 国産はとむぎ
- ② 国産有機はとむぎ若葉
- ③ 国産有機殻付きはとむぎ
- ④ フルーツ酵素
- ⑤ オリゴ糖
- ⑥ 有胞子性乳酸菌



お客様の声

はとむぎ茶を飲む、美肌

「国産活性はとむぎ茶100」は国産で活性化された無添加とのこと。借用して美味しく飲んでます。香りもよく、どれよりも1番美味。ただの麦茶よりもハトムギなので美肌に良いと思います。カフェインレスなので夜も安心。体に良くておいしいものは少ないですが、この「国産活性はとむぎ茶100」は心強く思います。



神奈川県 女性 65歳

イボが取れてびっくり

「国産活性はとむぎ茶100」を飲用させて頂きまして3年になりました。利尿作用、美肌にと又小さなイボが取れたことでびっくりです。これからも続けていきたいと思っております。



大阪府 女性 75歳

身体にやさしい天然素材の力

天然素材の力

今から約2000年前の「神農本草経」や、1500年前の「本草綱目」などは、著者自らの体を使って草根木皮の効き目を調べた書物です。後に民衆はこれらを用いた病気の予防、治療に救われ、また健康増進に利用してきました。現在でもその草根木皮は漢方や民間療法、健康食品として受け継がれています。今ではこれらの機能性を原点として研究が行われ、多く証明されています。

「薬」とは草を食して楽しくなることに源ありと言われるように、自然界にある天然素材で心身を癒し、冬に向けて健やかに過ごしてください。



はとむぎ茶

「本草綱目」では、ハトムギをヨクイニンと記され「脾を健やかにし、胃を益す。肺を補い清熱する。風を去り湿に勝つ」とあり神農本草経では「ヨクイニンの味は甘く、筋肉の引きつり、手足のけいれん、屈折の運動ができない、痛みやしびれなどの病を治し、滞った気を下す。継続して服用すれば体が軽くなり気を益す」としています。

日本に渡来してから本草学者・貝原益軒によって美白、美肌、イボ取り、母乳の出を良くするなどの機能が発見されました。漢方ではヨクイニンを利水作用、消炎作用、鎮痛、排膿、強壮として用いられ、健康食品ではイボ取りや美肌などに良いとして利用されています。



国産のはとむぎを100%使用しています。

板藍根

板藍根はアブラナ科のホソバタイセイの根のことです。日本では藍染めの原料に用いられた歴史があり、「虫食いなどを防ぐため大切な着物などは藍の風呂敷に包んだ」といわれています。「本草綱目」では、「板藍根は冷えや肌荒れ、汗にも効果があり消炎、解毒、抗腫瘍、抗ウイルス、抗菌にも効果がある」とされています。

現代の研究では、抗菌作用、抗ウイルス作用、解毒作用、消炎作用が確認されています。冬の季節に咽喉痛、インフルエンザ、ウイルス性肝炎、免疫増強作用などにも使われ、抗菌作用では外出から帰宅すると板藍根の煎じ液でうがいをするといわれています。



「飲みやすい板藍根顆粒」は顆粒状にし、1回分ずつ分包にしています。



田七人參

「本草綱目」では田七人參を三七人參と呼び、高麗人參と同じウコギ科の人參であり、その働きとして、「高麗人參には“氣”の不足を補い、田七人參は“血”を補うことを第一とする。味は少し甘いですが、人參の味に似ている。打ち身や腫れによりうっ血や流血したものはすぐにこれを砕き、患部につければよい。するとうっ血は取り除かれ流血は止まり、腫れは引き痛みは消える。もし傷を負ったらずー、二煎程度服用し、効果がなければさらに服用すればよい。産後の服用にも良い、滋養強壮にも効果があり、あらゆる血病を治療することができる」と記されています。

現代は「血」に関連した病気の予防、消炎作用・抗酸化作用、免疫力の回復などの機能が認められています。



田七人參の原料を買い付けすべて国内加工をしています。

飲みやすい小粒です。



グァバ

グァバの果実はジュースなどでご存知だと思います。「本草綱目」には「番石榴」と呼ばれ、「実は食べ、根や葉は胃病、腹痛、糖尿病に用いる」とあります。日本でもグァバは民間薬草として古くから糖尿病の改善に利用されてきましたが、現代ではグァバ葉に含まれる特有のグァバポリフェノールという成分が、食後の血糖値の上昇を抑える効果があるとして明らかにされています。グァバは血糖値の急激な上昇を抑制しても血糖値が下がりすぎる事はなく、常に高血糖値にならない状態にする働きがあります。

グァバの成分はビタミン類、鉄、カルシウム、ナトリウム、カリウム、リン、亜鉛などが豊富に含まれているので美肌作用にも良いとされています。



徳之島の有機栽培のグァバ葉を100%使用しています。

